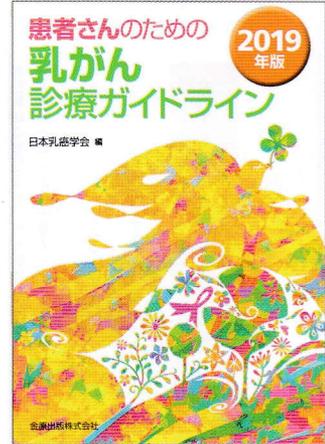


患者さんのための 乳がん 診療ガイドライン

日本乳癌学会 編

2019
年版



患者さんが知りたい64の疑問を わかりやすく解説! 3年ぶりの改訂版

納得のいく医療を受けるためには、患者さんが標準治療(=最善の治療)や診療方法について正しく理解したうえで、医師と相談し、ご自身に合った治療を選択することが重要です。本書は、乳がんの患者さんやそのご家族が、いま知りたいことについて、正しい情報をわかりやすく得られるよう医師と患者さん、看護師、薬剤師が力を合わせ作成した書籍です。最新の情報をもとに、患者さんからの計64の質問(Q)に対する回答(A)と解説を掲載しています。

CONTENTS

■原因と予防について (Q1-1~4-3)

- 1-1 肥満は乳がん発症リスクと関連がありますか。
- 2-1 更年期障害の治療に用いられるホルモン補充療法は乳がん発症リスクと関連がありますか。ほか

■乳がん検診と診断の進め方 (Q5~8)

- 5 乳がん検診について教えてください。
- 6 乳がんの診断はどのようにして行うのでしょうか。ほか

■乳がんと診断されたら (Q9~17)

- 9 乳がんと診断されました。これから治療を受けるのに、どうしたらよいでしょうか。
- 10 治療を決めるときにはどのようなことに気をつければよいでしょうか。ほか

■初期治療を受けるにあたって (Q18~38)

- 19 初期治療の考え方と全体の流れについて教えてください。
- 21 現在の標準的な手術の方法は何ですか。ほか

■初期治療後の診察と検査 (Q39)

- 39 手術後の経過観察はどのように受けたらよいでしょうか。



■再発・転移の治療について (Q40~45)

- 40 再発・転移とは、どのような状態なのでしょう。
- 41 再発・転移の治療について教えてください。ほか

■薬物療法について (Q46~56)

- 46 抗がん薬治療(化学療法)は、何のために行うのでしょうか。
- 47 抗がん薬(化学療法薬)・分子標的治療薬はどのように使用されるのでしょうか。ほか

■療養上の諸問題について (Q57~60)

- 57 生活習慣と乳がん再発リスクとの関連について
- 58 治療中や治療後の生活の注意点を教えてください。ほか

■若年者の乳がん・男性乳がんについて

- 61 AYA世代の乳がんには、(Q61~64)どのような特徴がありますか。
- 64 男性乳がんと診断されました。治療法について教えてください。ほか

読者対象 乳がん患者、患者家族、
乳がんに関わる医師、看護師、薬剤師

◆ B5判 240頁 オールカラー ◆ 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-307-20399-9

金原出版

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL03-3811-7184 (営業部直通) FAX03-3813-0288

 本の詳細、ご注文等はこちらから <https://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

